

# 和音の音で旋律づくり -目的や意図に合わせて考察し、修正する- B

## 実践概要

プログラミングソフトを用いて、ハ長調の和音の構成音による旋律を即興的に作り、和音の移り変わり（I→IV→I→V<sub>7</sub>→I）を味わいながら、まとまりのある音楽へ修正することができるようにする。

## 使用教材（製品名）・ICT環境（OS名等）

「Scratch3.0」MIT メディアラボ  
「タブレットPC（Windows）」

## 本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	●ハ長調の和音と低音を鍵盤楽器で演奏して、響きの移り変わりを確かめる。	
展開	●和音に含まれる音を1音ずつ分担してリコーダーで演奏し、響きを確かめる。	○タブレットを使用し、つくった旋律の流れを和音と重ねて視聴し、音のつながり方を修正しながらまとまりのある旋律に仕上げるようにする。
まとめ	●和音に響きに合った音を選択し、和音の移り変わりに気を付けて、示されたリズムで4分の4拍子四小節の旋律をつくる。	○タブレットを使用し、つくった旋律の流れを和音と重ねて視聴し、音のつながり方を修正させる。 ★まとまりのある旋律に仕上げることができている。 【知】

## ここに注目！（本事例のポイント）



ハ長調のI→IV→I→V<sub>7</sub>→Iの和音の移り変わりに合わせて、音のブロックを選択させた。

つくった旋律と和音を重ねて視聴し、音のつながり方や組み合わせを修正しながら、よりまとまりのある旋律を即興的につくることできるようにした。

リズムカード使って、2分音符のリズムを変化させた。

同じリズムを繰り返す、響きの長い音や短い音を組み合わせるなど、カードを入れ替えたり、リコーダーで演奏して音を聴いて試したりしながら、よりまとまりのある旋律に仕上げるようにした。